

「社会起業」とは？

大ナゴヤ大学学長が経験する

前回は、市民団体や行政・大学による社会実験活動と、誰もが参加できる「授業」という場を作り、活動する人の思いを聞き実際に経験することをきっかけに、さまざまな活動への参加を促進する取り組みを紹介しました。「誰もが先生になれる」というコンセプトのもと、多くの人が社会の動きや取り組みを知り、身近にこんな素敵な人が居るんだということに誇りを持ってたら幸せなことだと思います。

市民とつくる授業…ボランティアスタッフ発

バーが自分の受けてみたい授業を提案する、授業企画コンペを実施しました。そこで1位となったのが「ナゴヤ発！みんなのおやつ『クッピーラムネ』」名古屋の駄菓子文化を学ぼう！です。全国でも有数の駄菓子問屋街、明道町商店街を散策し、老舗問屋の社長と、「クッピーラムネ」を製造するカクタイ製菓の社長に直接お話を聞き、新商品のアイディアを出し、話を進めることができました。企画です。企

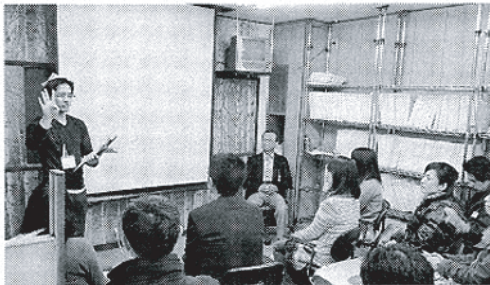
受けた「企画」を提案

補講やゼミ・サークルも

今年の業や店舗への最初の訪問に、また「自己推薦枠」といって社長の前でクッピーラムネの新年会はボラスタとともに企画する新たな募集法を実施。業の中タツも同行。授業で押さ「クッピーラムネ」が大好きな気持ちで、ボラえるべきポイントのアドバースタメンイス、経過の確認、準備のしていただきました。当日上がりました。

企画の進ちょくを「ボラスタ日記」というブログで継続的に紹介するなど、参加者にも「一緒に授業を見守る」楽しさを味わっていただく活動の幅が広がっています。今後実現の可能性がある企画を継続的に開催していきま

その他、授業に出られなかった人たちの活動にも呼びかけ、授業を追体験する「補講（ホコウ）」や、一つのテーマのもと継続的に学びの場をつくる「ゼミ」も誕生。地域に根付き、藤慎康



「クッピーラムネと駄菓子文化を学ぶ授業」の様子

【NPO法人 大ナゴヤユニバーシティ・ネットワーク学長・理事長 加藤 藤慎康】

